



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 板垣 治

TEL 06-6393-5621

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,366	19.7	616		510		495	
2022年3月期第2四半期	14,512		810		374		477	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,428百万円 (675.8%) 2022年3月期第2四半期 184百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	26.74	
2022年3月期第2四半期	25.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	69,907	34,215	48.7	1,833.32
2022年3月期	65,401	33,073	50.3	1,777.15

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 34,026百万円 2022年3月期 32,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.50		17.50	35.00
2023年3月期		17.50			
2023年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	17.7	2,000	92.3	2,000	6.4	1,500	3.5	81.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	19,332,057 株	2022年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	771,810 株	2022年3月期	827,249 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	18,532,430 株	2022年3月期2Q	18,505,081 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境をみれば、新型コロナウイルス感染症への対応と社会経済活動の両立が進んだことにより持ち直しの動きが見えています。屋外でのマスク着用が原則不要とされたほか直近では政府によりインバウンドが本格的に解禁されるなど、経済の正常化への動きが加速しています。一方で、世界経済の先行きは、半導体関連部品の供給不足や原材料およびエネルギー価格の上昇、米国金利引き上げに伴う為替相場の大幅な変動、ウクライナ情勢の長期化などにより、依然として予断を許さない状況が続いています。

当社事業においては、遊戯機械では海外を中心に受注環境が回復し、新設ライドや補修部材の需要が伸びているほか、国内ではコンサートやイベントが本格的に再開して仮設舞台装置の需要が回復しつつあります。一方で、常設の舞台機構では前期の大型案件の反動や諸コストの増加などの影響を受けました。

この結果、売上高は17,366百万円（前年同期比19.7%増）、営業損失は616百万円（前年同期は営業損失810百万円）、経常損失は510百万円（前年同期は経常損失374百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は495百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失477百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません。）

遊戯機械

海外を中心に受注環境が回復し工事が順調に進捗したほか、補修部品の需要も伸びたことにより、セグメント売上高は9,271百万円（前年同期比37.0%増）、セグメント利益は110百万円（前年同期はセグメント損失923百万円）となりました。

舞台設備

新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が回復したものの、常設の舞台機構では新設工事で諸コストの増加などの影響を受けたほか、改修工事については前期に大型の好採算案件があったことからの反動などから、セグメント売上高は5,658百万円（同3.1%増）、セグメント損失は26百万円（前年同期はセグメント利益592百万円）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したものの、一部の新設案件で不採算工事もあり、セグメント売上高は2,371百万円（同6.5%増）、セグメント利益は109百万円（同59.1%減）となりました。

その他

セグメント売上高は65百万円（同113.3%増）、セグメント利益は26百万円（同469.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ4,505百万円増加し、69,907百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が1,984百万円、現金及び預金が754百万円、仕掛品が633百万円、原材料及び貯蔵品が141百万円それぞれ増加したことなどによります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ3,363百万円増加し、35,692百万円となりました。これは主に、契約負債が3,546百万円増加したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,141百万円増加し、34,215百万円となりました。これは主に、配当金の支払いなどにより利益剰余金が819百万円減少したのに対し、円安進行により為替換算調整勘定が2,090百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ754百万円増加し14,946百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,020百万円の収入(前年同期は3,731百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、契約負債の増加3,015百万円、工事損失引当金の増加300百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払832百万円、売上債権の増加701百万円、棚卸資産の増加547百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、206百万円の支出(前年同期は133百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出207百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、800百万円の支出(前年同期は1,115百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出698百万円、配当金の支払323百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2022年5月13日に公表した数値を見直しておりません。例年通り年度後半にかけて常設の舞台設備や昇降機で官公庁工事の進捗を予定しているほか、引き続き遊戯機械で海外を中心に好調な受注と工事の進捗、国内の仮設舞台装置での需要回復などを見込んでいます。今期の業績の推移により、見直しの必要性が生じた場合には、すみやかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,225,298	14,979,994
受取手形、売掛金及び契約資産	18,756,079	20,740,633
電子記録債権	276,606	120,381
仕掛品	498,927	1,132,414
原材料及び貯蔵品	2,477,804	2,619,784
その他	2,076,551	2,887,088
貸倒引当金	△876,265	△865,222
流動資産合計	37,435,002	41,615,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,943,983	5,074,040
土地	4,239,690	4,277,183
その他（純額）	1,204,192	1,315,926
有形固定資産合計	10,387,865	10,667,150
無形固定資産		
のれん	8,156,084	8,399,739
その他	1,561,230	1,546,544
無形固定資産合計	9,717,314	9,946,284
投資その他の資産		
投資有価証券	5,824,405	5,580,345
その他	2,037,622	2,099,094
貸倒引当金	△462	△462
投資その他の資産合計	7,861,565	7,678,977
固定資産合計	27,966,745	28,292,412
資産合計	65,401,748	69,907,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,173,831	2,178,090
短期借入金	3,965,110	4,453,040
1年内返済予定の長期借入金	1,365,520	1,179,554
未払法人税等	400,806	34,614
未払消費税等	306,004	50,623
契約負債	6,298,307	9,844,974
賞与引当金	516,852	519,203
役員賞与引当金	32,712	8,328
工事損失引当金	141,304	450,388
その他	2,165,716	2,749,041
流動負債合計	17,366,166	21,467,859
固定負債		
長期借入金	11,790,693	11,454,000
繰延税金負債	847,195	571,524
退職給付に係る負債	2,277,312	2,104,728
その他	47,322	94,365
固定負債合計	14,962,524	14,224,618
負債合計	32,328,690	35,692,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,442,954	2,451,864
利益剰余金	25,039,798	24,220,426
自己株式	△416,780	△388,920
株主資本合計	30,317,252	29,534,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,866,272	1,696,837
繰延ヘッジ損益	76	-
為替換算調整勘定	697,940	2,788,817
退職給付に係る調整累計額	4,305	6,482
その他の包括利益累計額合計	2,568,594	4,492,137
新株予約権	187,210	188,221
純資産合計	33,073,057	34,215,007
負債純資産合計	65,401,748	69,907,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	14,512,126	17,366,202
売上原価	10,845,371	13,480,210
売上総利益	3,666,754	3,885,991
販売費及び一般管理費	4,477,710	4,502,834
営業損失(△)	△810,956	△616,842
営業外収益		
受取利息	1,682	468
受取配当金	83,644	86,907
保険配当金	338,478	32,059
助成金収入	76,260	32,420
その他	60,391	77,428
営業外収益合計	560,457	229,284
営業外費用		
支払利息	118,750	119,677
支払手数料	2,716	2,716
為替差損	692	-
その他	1,555	661
営業外費用合計	123,714	123,054
経常損失(△)	△374,213	△510,612
特別利益		
固定資産売却益	45	3,184
特別利益合計	45	3,184
税金等調整前四半期純損失(△)	△374,167	△507,428
法人税等	102,903	△11,890
四半期純損失(△)	△477,071	△495,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△477,071	△495,538

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△477,071	△495,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123,479	△169,435
繰延ヘッジ損益	△3,104	△76
為替換算調整勘定	783,384	2,090,877
退職給付に係る調整額	4,338	2,177
その他の包括利益合計	661,138	1,923,542
四半期包括利益	184,067	1,428,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,067	1,428,004
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△374,167	△507,428
減価償却費	497,768	536,433
のれん償却額	377,412	404,140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,202	2,351
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,252	△24,384
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△37,010	300,668
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	73,581	△169,446
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	397,944	△95,832
受取利息及び受取配当金	△85,326	△87,375
支払利息	118,750	119,677
固定資産売却損益 (△は益)	△45	△3,184
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	4,362,619	△701,466
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△440,360	△547,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	△288,711	△96,131
契約負債の増減額 (△は減少)	△293,558	3,015,106
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,864	△255,380
未収消費税等の増減額 (△は増加)	49,528	△88,333
その他の資産の増減額 (△は増加)	△100,615	△265,557
その他の負債の増減額 (△は減少)	129,587	321,311
その他	25,147	25,380
小計	4,359,223	1,882,888
利息及び配当金の受取額	85,151	87,201
利息の支払額	△119,477	△116,497
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△593,427	△832,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,731,469	1,020,885

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△20,000
定期預金の払戻による収入	-	20,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	950	-
有形固定資産の取得による支出	△118,931	△207,719
有形固定資産の売却による収入	45	5,089
無形固定資産の取得による支出	△15,773	△24,926
貸付けによる支出	-	△1,378
貸付金の回収による収入	4,716	6,977
その他	△4,468	15,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,462	△206,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△71,896	250,000
長期借入金の返済による支出	△682,135	△698,404
リース債務の返済による支出	△17,621	△28,932
ストックオプションの行使による収入	-	55
自己株式の取得による支出	△80	△213
配当金の支払額	△343,950	△323,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,115,685	△800,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	186,052	740,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,668,374	754,695
現金及び現金同等物の期首残高	12,114,494	14,192,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,782,868	14,946,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前当期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。